

Unit 11 それぞれのお正月 (4時間)

本単元における小学校英語活動を生かした指導

本単元の言語材料は過去形である。小学校英語活動では、過去形を用いた活動は少なく、夏休みの思い出を話題とした活動などが行われている程度である。そのため、生徒にとって過去形は、小学校英語活動においては慣れ親しんだ表現となっていないと考えられる。そこで、まず過去形の ed の音を音声でたくさん聞くことによって、過去形を音としてとらえられるようにしたい。生徒は小学校英語活動において、音声でたくさんの表現を身に付けてきているので、文字で理解するより音で聞くことによって抵抗なく過去形を身に付けることができると考える。本単元では、小学校英語活動の手法を取り入れ、実物を使ったり、実際の場面に近い状況で活動することで、表現の理解と定着を図っていきたい。

1 目標

- ・ カナダとアメリカの国境にかかる橋、レインボーブリッジについて理解する。
- ・ 自分が何をしたかについて、話すことができる。
- ・ 規則動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ どのように年を越したかなどについて、話すことができる。
- ・ 不規則動詞の過去形を用いた文と形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 何をしたかについて尋ねたり、それに答えることができる。
- ・ 過去形を用いた文（疑問文と応答、否定文）の形・意味・用法を理解し、表現できる。

2 評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) お正月の過ごし方などに興味をもっている。 (コミュニケーションの継続) 相づちを打ったり、聞き取りにくかった時聞き返そうとしたりしている。		(正確な聞き取り) 絵はがきや冬休みの内容を正しく聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) 説明や会話の大切な部分を聞き取ることができる。	(言語についての知識) 過去形の意味・用法を理解している。 (文化についての理解) How are you going?など生活に根ざした表現を理解している。
話すこと	(言語活動への取組) 間違うことを恐れず、自分のことを話している。 (コミュニケーションの継続) Well...などを用いて話し続けている。	(正確な発話) 過去形を用いて、自分のことを伝えることができる。 (適切な発話) 過去形を用いて、相手に尋ねたり、適切に応答することができる。		(言語についての知識) 過去形の ed は [d][t][id] の音になることを理解している。 (文化についての理解) 日付の言い方を理解している。
読むこと	(言語活動への取組) お正月の過ごし方などの内容に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても推測して読み続ける。	(正確な音読) 語と語の連結に注意して正しく音読できる。 (適切な音読) 場面に応じた音読や適切な音量、速さで読むことができる。	(正確な読み取り) 絵はがきの内容や冬休みの会話の内容を正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) 過去の出来事の大切な部分を読み取ることができる。	(言語についての知識) 過去形の文構造について理解している。 (文化についての理解) 日本語と英語の正月のあいさつの違いを理解している。
書くこと	(言語活動への取組) 辞書などを活用し、自分のことを書いている。 (コミュニケーションの継続) 表現できないところなど、教師や友人に尋ねる。	(正確な筆記) 過去形を用いて過去の出来事を正しく書くことができる。 (適切な筆記) 時間の流れや文のつながりを考え文章を書く。		(言語についての知識) 過去形の文構造について理解している。 (文化についての理解) 絵はがきや手紙の書き方を理解している。

ねながら書き続けている。	くことができる。	✓	
--------------	----------	---	--

3 指導と評価の計画

(網掛けは、小学校英語活動を生かした活動・指導)

時間	ねらい()と 学習活動()	指導上の留意点及び支援の工夫 「おおむね満足」に達していない生徒 への手だて	単元の 評価規 準との 関連	具体的評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
1	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>① First of May を歌う。</p> <p>設定された場面を理解し、Part 1 の内容を読み取る。</p> <p>② 教師の示した英文を読み、設定され場面を理解する。</p> <p>③ Part1 の内容を、教科書を見ながら理解し、分かったことをメモする。</p> <p>④ Part1 の新出単語を練習する。</p> <p>⑤ 本文の音読練習をする。</p> <p>⑥ Q and A で内容を確認する。</p> <p>英語で手紙を書くことができる。</p> <p>⑦ グリーン先生に向けて手紙を書く。</p>	<p>過去形を意識することができるように線を引きながら歌うよう促す。</p> <p>元旦にグリーン先生に絵はがきを書くという設定で活動するということを示すことで、これからの活動に興味をもって取り組めるようにする。</p> <p>場面の説明は黒板に英文で示すようにする。</p> <p>1 回目は音のみで理解し 2 回目は本文を見ながら理解することで、音と文字を結び付けられるようにする。</p> <p>過去形の ed の読み方を指導する。</p> <p>Read and Look up などさまざまな読み方をすることで、繰り返し練習ができるようにする。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>答えを英語で書くことで、内容を確認できるようにする。</p> <p>答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで、書くことに取り組めるようにする。</p> <p>Unit 10 での活動を思い出し、観光場所を 1 つ入れて手紙を書くことで、書く活動に興味をもって取り組めるようにする。</p> <p>机間指導をし、アドバイスをする。</p>	アイウエ	<p>絵はがきの内容を理解し、正しく音読している。</p> <p>A はがきの内容を正しく理解し、語と語の連結に気を付けて読んでいる。</p> <p>B 昨日の内容が分かり、モデルに近付こうと読んでいる。</p> <p>(観察、メモシート)</p> <p>内容に過去の話題を入れて、手紙を書くことができる。</p> <p>A 新年のあいさつや自分の近況を知らせる手紙を書くことができる。</p> <p>B 過去形を用いて本文を参考に手紙を書くことができる。</p> <p>(観察、手紙)</p>
	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>⑧ First of May を歌う。</p> <p>Part2 の内容を理解する。</p> <p>⑨ Part2 の内容を、教科書を見ながら聞き、分かったことをメモする。</p>	<p>過去形と原形を確認するよう促す。</p> <p>グリーン先生の日記という設定を設けることで読む活動に取り組めるようにする。</p>	アイ	<p>グリーン先生の正月の過ごし方を理解し、正しく音読している。</p>

	<p>21 考えた会話文をもとに友達や教師と対話をする。</p>	<p>り、対話練習を行うよう促す。 教師がグリーン先生役になり、生徒と対話するようにする。</p>	<p>B 過去の出来事を尋ねる文を入れながら対話ができる。 (観察、ワークシート、発表)</p>
4	<p>英語学習への意欲をもつ。 22 First of May を歌う。 課全体の復習をし、話題を確認する。 23 教科書のさし絵を見ながら本文の音読をする。 ALT の冬休みの様子を理解し、自分の冬休みについて書く。 24 ALT の冬休みの日記を読み、内容を理解する。 25 ALT の冬休みクイズに答える。 26 自分の冬休み絵日記を書き、発表する。</p>	<p>全体の歌詞の意味を考えて歌うよう促す。 暗唱できる生徒はさし絵のみで音読するよう促す。 冬休みの絵日記を ALT に簡単な文章を用いてまとめてもらい、書くことに興味をもつことができるようにする。 読んだ日記は見ないで答えることで、自分の言葉で表現できるようにする。 絵日記の絵の部分を参考にしよう助言する。 ALT の日記を参考に書くよう助言する。 冬休みのことが書けない場合は、最近数週間の日記を書よう伝える。 全体の前での発表は絵が見えるよう OHC を使用する。</p>	<p>ア イ エ 場面に合う会話文を書いたり、発表したりできる。 A 場面に合う会話を正しい表現で書き、自然な会話をするができる。 B 既習表現を使って書き、発表できる。 (ワークシート、発表)</p>

小学校英語活動を生かした指導に関わる 3 時間分

英語科学習指導案 (Unit 11) 第 1 時 1/4

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時の言語の使用場面は絵はがきである。慎たちがカナダからグリーン先生に出した絵はがきに、レインボーブリッジのことが過去形を使って書かれている。小学校英語活動においては、夏休みの紹介などで過去形に触れる程度である。そこで本文を何度も聞いたり、読んだりする中で、過去形を音と文字で結びつけながら理解できるようにしたい。また、過去形を使って文章を書くことでさらに定着が図れると考えるので、カナダに旅行にきているという場面を設定し、グリーン先生に絵はがきを書く活動を取り入れる。その際、Unit10 の学習のナレーターの活動を思い出し、その場所を観光場所の一つとしてグリーン先生に紹介するという内容で過去形を使って手紙を書くようにしたい。そのことにより、Unit10 あるいは Unit8 からの内容をとぎれず連続して学習することができるので、題材への関心も高まり、使用した表現を関連させて思い出すことができ、表現の定着にも効果的であると考えられる。

1 本時の目標

- ・ 規則動詞の過去形を用いた文（肯定文）の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 1 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、メモシート、はがき

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 First of May を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで表現の定着が図れるようにする。 過去形を意識することができるように、線を引いて歌うよう指示する。	
5	設定された場面を理解し、Part1 の内容を読み取る。	設定された場面の英文を読み、理解する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Yesterday you went to 場所 (Unit 10 の名所). Today is January 1st. You are at home. You are writing a letter to Ms. Green. </div>	元旦にグリーン先生に絵はがきを書くという設定で本時は活動することをとらえさせ、興味をもって取り組めるようにする。 場面の説明は黒板に示し、読んで理解できるようにする。	
20		Part1 の内容を聞き取る。 Part1 を教科書を見ながら聞き、分かったことをメモする。 Part1 の新出単語を練習する。 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。 規則動詞の過去形の用法を理解する。	音と文字を結び付けられるように、始めは教科書を閉じ音のみで聞き、次に教科書で確認するように指示する。 それぞれの文の時制に気を付けて聞き取るよう促す。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするため、フラッシュカードを用いる。 過去形の d,ed の 3 種類の読み方 [d][t][id] を指導する。 語と語の連結を意識して読むよう促す。 Read and Look up など暗唱できるくらい繰り返し練習をする。 Q and A の答えを英文で記入することで内容を確認できるようにする。 d,ed の付け方を説明し、過去形の形を理解できるようにする。	はがきの内容を理解し、語と語の連結に気を付けて読んでいく。
20	英語で手紙を書くことができる。	グリーン先生に向けて手紙を書く。	Unit10 の活動を思い出し、ナレーターとして紹介した観光場所に行ったという設定をすることで、手紙を書く活動に興味をもてるようにする。 新年の挨拶や近況なども入れて書くよう助言する。	過去形を用いて手紙を書くことができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時も前時同様、あらかじめ場面を設定し、生徒がその設定場面を理解してから、1時間活動できるようにしたい。本文にはグリーン先生の年越しの様子が書かれている。そこで、本文をグリーン先生の12月31日の日記という設定で読み取り、本文の読解後に自分のおおみそかの日記を書くという活動を行いたい。本単元を扱う時期が年末年始から遅れるときは、冬休みのある一日の日記など日付は生徒が書きやすい日を選び、過去形を使って自己表現しやすいようにする。教師が場面を設定し、生徒がその場面を理解した後、本文を音読したり、書く活動に取り組むことは、生徒が言語の使用場面や働きを意識した学習をすることができ、実践的コミュニケーション能力の基礎を育成する上で効果的であると考え

1 本時の目標

- ・ 不規則動詞の過去形を用いた文（肯定文）の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 2 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、メモシート、日記シート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 First of May を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで表現の定着を図れるようにする。 過去形と原形を確認するよう促す。	
25	Part2 の内容を理解する。	Part2 を黙読し、あらすじをとらえる。 Part2 の内容を教科書を見ながら聞き、分かったことをメモする。 Part2 の新出単語を練習し、all の読み取りと書き取りの練習をする。 small, fall, city hall 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。 不規則動詞の過去形の用法を理解する。	グリーン先生の日記を読むという設定を設けることで、読む活動に取り組めるようにする。 グリーン先生がどういう順番でどんな行動をしたかをとらえられるようにする。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするため、フラッシュカードを用いる。 call の all の発音練習と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使い指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 Read and Look up などで暗唱できるくらい繰り返し練習をする。 前置詞を含む句の強勢に注意して音読するよう助言する。 Q and A の答えを単語で書くことで内容を確認できるようにする。 小学校英語活動で使用した不規則動詞を導入することで推測できるようにする。 went, ate, saw, had	本文を理解し、強勢やイントネーションに気を付けて読んでいく。
20	自分の日記を書くことができる。	本文を参考に自分の日記を書く。	日記の日付は生徒が書きやすい日を選ぶよう伝える。 生徒が日記を書く際に必要だと思われる動詞の過去形を板書しておき、書く活動に取り組めるようにする。	過去形を用いて日記を書くことができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時は、帰国した慎が公園でグリーン先生とばったり会い、冬休みのことを話し合うという内容である。場面は、カナダから帰国してきた翌日の公園とすでに設定されているので、登場人物になって活動し、話す活動に書く活動を加えながら学習できるようにしたい。Unit10 の活動を、冬休みをカナダで過ごしているという設定で行ってきているので、その続きでカナダから帰ってきてグリーン先生に初めて会うという設定で活動できるようにする。Unit10 での活動を振り返りながら学習に取り組むことで、その時使用した表現なども思い出すことができ、流れのある学習ができるので、生徒も活動に取り組みやすくなり、言語材料の定着も図れると考える。また、話す活動に偏らないように、せりふを書く活動も取り入れ、聞く・話す・読む・書くバランスの取れた指導を心がけたい。

1 本時の目標

- ・ 過去形を用いた文（疑問文と応答、否定文）の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 3 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、メモシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 First of May を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで表現の定着が図れるようにする。 現在形と過去形の歌詞の違いを考えるよう促す。	
5	公園での対話に関心を持ち、Part3 の内容を理解する。	教師の対話を聞き、内容をメモする。 Ms.Green: Hi, Judy. Judy : Hello, Ms. Green. Did you have a good oshogatsu in Japan? Ms.Green: Yes, I did. I enjoyed osechi. Did you enjoy Canada? Judy : Yes, I did. I went to Niagara Falls. It's great. Ms.Green: Did you go to the Rainbow Bridge? Judy : Yes, I did. Did you go somewhere? Ms.Green: I went to the shrine. Oh, I have to go now. See you soon. Judy : Good-bye. See you next Monday.	ALT がグリーン先生役、JET がジューディ役になり対話をし、内容に興味をもてるようにする。 Unit10 からの続きであることを意識できるようにする。	
20		Part3 の内容を聞き取り、 り、慎の冬休みについてメモする。 Part3 の新出単語を練習し、e のついた a の読み取りと書き取りの練習をする <u>game, bake, cage</u> 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。 過去形の疑問文、否定文の形を理解する。	対話の概要をとらえることができるようにする。 何をしたか、あるいはしていないかを聞き取るよう促す。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするため、フラッシュカードを用いる。 came の a の発音練習と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使い指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 e のつかない a の発音と比較して指導する。 <u>mat - mate pal - pale mad - made</u> 暗唱できるようにペアで役割交代しながら読むよう促す。 Q and A の答えを単語で書くことで内容を確認できるようにする。 Do の疑問文、don't の否定文と比較しながら指導し、理解できるようにする。	本文の内容を理解し、場面を考え気をつけて読んでいる。
20	場面に合う対話を行うことができる。	グリーン先生との会話を考える。 考えた会話を友達や教師とペアになり行う。	興味をもって活動に取り組めるように Unit10 を思い出し、カナダから帰ってきたばかりという設定を与える。 ペアになりお互いが考えた会話をを行うよう伝える。 教師がグリーン先生役になり、生徒と会話を行う。	場面を考え、会話をすることができる。